

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 7年 1月 30日

胎内市議会議長

八幡元弘様

(報告者) 総務文教常任委員会
委員長 笥智也

総務文教常任委員会閉会中所管事務調査 について、
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 令和 7年 1月 28日 至 令和 年 月 日 泊 日 (1日間)	調査・研修 場所	・黒川地区公民館 ・胎内市図書館 ・中央公民館 ・柴橋地域スポーツ施設
調査・研修 事項	生涯学習施設の現状について		
調査・研修 出席者(参加者)	委員長 笥智也 副委員長 坂上清一 丸山孝博 渡辺宏行 薄田智 天木義人 小野徳重 渡辺栄六 羽田野孝子		
相手方(対応者)	生涯学習課：佐久間課長 吉田参事 黒川地区公民館：廣井主任 中央公民館：新村主任 胎内市図書館：塚野主任 柴橋地域スポーツ施設：桐生係長 南波主任		

調査の結果または概要

令和6年8月、胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）にて、新たな生涯学習施設の整備方針が示され、令和11年度に供用開始としたい計画イメージとのことであった。早くて5年後という時間軸を考慮し、現在供用されている老朽化率の高い生涯学習施設を視察した。

黒川地区公民館

築年数48年であり、イリノイアカデミーの英語教室など様々な団体に利用されているとのこと。主となる部屋は、他産業研修室・教養娯楽室・和室であった。和室は自主避難所の際にも利用されている。各部屋の冷暖房機材の老朽化による使用制限などが目立つ。また講堂については吊り天井など構造上の理由により安全性を考慮し、近年の貸出利用等はないとのことであった。

中央公民館

築年数65年で、RC造2階建にプレハブ室が併設されており、今回の視察先の中で利用団体が最も多い施設であった。各集会室の入口扉などは新しいものに取替られているところもあり、利用者の利便性向上に努められているが、2階大集会室の窓枠など劣化が激しい部分も多くみられた。

胎内市図書館

築年数が66年と古く、旧町役場庁舎時代からの建物でRC造3階建。窓枠等取替られている箇所も多くトイレも改修されていた。ただ、内壁面にクラックがある。部分的に窓枠補修の苦勞の跡が残るなど、補修の限界度が近いと感じた。耐震補強済み。

柴橋地域スポーツ施設

平成22年に閉校した旧柴橋小学校の体育館で築65年。現在NPO法人スポーツクラブたいないが指定管理者として管理を行っている。床面は人工芝で覆われており、4団体が利用している。耐震については旧耐震基準となっている。

調査の所見・感想

全体的に構造物老朽化の進行具合が目立った。建物によっては耐震補強済みのものもあり、部分的にメンテナンスも行われているようだが、基本構造や設計の古さからか、処が難しい箇所も見受けられた。2階・3階などがある施設にはエレベーターなどの昇降機がないため、様々な利用者に対応可能となっていない状況であるが、現状では難しい課題と捉える。

柴橋地域スポーツ施設については旧耐震基準であるが故、万が一の災害時対応の重要性を指摘する声もあった。黒川地区公民館に設置されている冷暖房機材について、委員から「壊れている、或いは修理部品がないなどの理由で使えないのであれば、利用者が戸惑うことがないよう撤去するなど考えるべきでは」との意見があった。

中央公民館や黒川地区公民館には様々な利用団体があり、両施設合計の利用者数は年間2万人を超えていることから、市民からの生涯学習施設の重要性を感じとることができる。このことから、今後進められる生涯学習施設整備には、市民の声を反映させる場などが必要であると強く感じた。